
長い人生何とかなる

てんびんはかり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

長い人生何とかなる

【NZコード】

N5430D

【作者名】

てんびんはかり

【あらすじ】

今悩んでいる人に少し元気が出せる本です。

(前書き)

今悩んでいる人に少し元気がでる本です。

僕の過去には、長く暗いトンネルの中で出口を必死に見つけたことがあつたんだ。やつと見えた出口、トンネルから出た明るさは自信と勇気。いろんなことがあつて、辛い時、どうしようもなくイヤになつた時が今かも知れないしやつて来るかも知れない。しかし！それは、絶対に出口があつてその出口は明るい！ 改めて世間を観るといろいろな人がいます。国によつて言葉が違うし、国内では方言と言う立派な文化がある。

食文化だつて え！こんなものも食べるの？と思つのもあります。お相撲さんみたいに体の大きい人、氣の長い人、短い人、器用な人そうでない人…いろいろな人が集合しているのが現状。

顔だつてみんな耳が2個、目も鼻も眉毛もたぶん同じ数だけあつて付いている位置もだいたい一緒のはず。でも似てゐる顔はあつても同じ顔はまずいるのは大変不思議なこと。

だけどけんかが強いとか相性が悪いとか意見が合わないとかを思つたり感じたりするのは全く違うし思つほど無駄。

人間の寿命は100年？平均でも80年。今が辛く苦しい人がたくさん居ます。その人は中学生？高校生？それとも職場の中での事？80年の中わずかな時間です！必ず解決します！それは人の考え方、気持ちは変われるからです。だからもつと考えて方法を見つけるのは自分です。

最近の10代のの人と話しかけたり接する中で、挨拶がないのと顔には表情が感じられない。なんか寂しい。会話、コミュニケーションと言つ栄養素が足りないのが原因と思う。物事の解決の第一歩は

「言葉」にあるよつな気がします。おとなしいから話しができない、挨拶ができない、人見知りするからなどと言い訳する人が居ますがそれは関係ありません。特別な病気ではないかぎりしやべれますよね。言葉、会話が突破口なのです。まずは挨拶から！「おはよう

「ありがとう」

「お先に」

「今日は暑いね～寒いね」

「いただきます、『こちそつわま』など書き出したらそれだけで一冊の本になるほどたくさんあります。話しにくい、気が合わない、誰かに相談したいけど・・・話さないでいいから挨拶してみてください。必ず何か返ります。

合わせて顔表情も大事なひとつなのです。「笑顔は造るものではありますせん気持ちが形に変化したものです」今一度鏡を見てよく自分を観て下さい。暗くありませんか？無表情になつてしませんが？表情に元気がありませんか？まずは自分自身が元気になること。

元気が出たところで何でもいいので何か一生懸命出来ることを見つけてほしい。スポーツ、美術系、音楽、本を読むのも知識が付いていい。以外に新しいことを挑戦するのがいいかも。人間の能力には頂点がないと思っています。

不器用で運動もできないし頭も悪いと思つて何もしないのは勝手に思つてゐるだけ！努力、練習で必ず何でも出来るもの！またいろいろな人と話をしたり本を読むことでも知識と言つ武器が付くもの。実は私はどんどんさく、体力もなくその当時ブヨブヨの体で小学生、中学生の頃は運動会が嫌いでした。またいじめられた事もあって自分で自分をダメな人間と決めつけていました。しかし！それは自分に甘え、ある意味横着だったことに気づいたのです。小学校2年生位から親の仕事で転校を中学校までに3回経験し、そのためか？友達があまりできぬ状態が続き外で遊ばないようになり標準より体重が多く何もしない、できないとなつていた。

大阪で幼児時代を過ごし最初の転校は小学校2年で京都であった。さすがに2年生からいじめられた話にはなりません。4年生の時に岡山にいきました。それも市内から離れたある田舎町だったので。その頃の田舎町ではクラスを仕切るのがいわゆるガキ大将がいたものであった。転校の挨拶を終えたばかりの僕に対し

「子分になれ！」と近寄ってきた。なんのことかさっぱりわからなかつたこともあり

「はい」の返事をするわけがありません、その後理科室に僕を呼び入った時ガキ大将のほかに2人いた。そしていきなり！殴ってきたのであつた。

「何故？」と当然思うが抵抗することすら忘れるほど呆然としていた。結局そのグループに従つた。ほかの生徒は閉鎖的なところがつてかなかなか受け入れしてくれずみんなとの距離を感じた。その後5年生になつてもその状態が変わらず反抗すれば例グループからの暴力、ほかの生徒は見てみないふりであつた。僕はなんとか打開したいと一生懸命に考えて考えた。そして自分なりの答えを出した。よく今の自分の立場を思つたとき、いじめられクラス仲間ともとけこめない中、暗くなり誰にも相談しないままになつていた。思い切つて自分からどんどん話して行こうとそれも明るい声で話そうとしたの当時は努力したものであつた。

「おはよう」から始まりガキ大将グループにも自分から声をかけ「昨日のテレビ面白かったね」など話しきつかけを作つていった。最初はみんな「キヨトン」としていてあまり返事すら返つてこなかつたのです。しかしつしかひとり返事が返つてきてまたひとりとみんなが自然に話しをしてくれるようになつた。お互いが理解できた瞬間。みんなが笑顔で話しができたのです。ガキ大将グループも普通に会話すると全く普通で本当は周りがあまり近寄つて来ないから寂しかつた？と勝手に思つた。やつとクラスの一員になつた気がした。

嫌いな給食をみんなで協力して食べたり、学校が終わつた放課後、休みの日でもいっぱい遊んだものです。

しかしその楽しさも長くは続かず県内であつたが転校になつたのです。

6年生の2学期だった。

。 そこの学校もいじめ、不良グループの問題があつたようです。僕は一度乗り越えた経験からまず挨拶から始まり笑顔で話し、親切に

してもらつたらお礼を言つなど当たり前のことだつたが繰り返し接することでみんなどこか暗い顔が明るく元気な顔に感じた。少し大人になつた気がしたものでした。

中学校に

入り何か部活をしたいと考へていた。ある日、構内をうろついていた時、体育館からざわざわした声がしていたのです。それは、剣道をしていた声だつた。それまでは野球、サッカーに興味があつて剣道は何も思わなかつたが何か強く感じるものがあつた。その後、剣道部の顧問に入部のお願いをしたのです。

しかし、竹刀すら持つたことのなあ全くのド素人で激しい練習、気迫溢れる雰囲気を感じ、見た現実は場違いと思つた。

初心者の僕にとって面、胴など道具をつけただけでも動きづらさがこちなさはあつたと思います。練習に入りひたすら面を打たれ続け、何かひりひりするなあと思い休憩の時に面を外し手ぬぐいをとつて見た時、血がにじんでいた。この先続けられるかその時は自信がなかつた。練習後、先輩に辞める話したらその先輩は、「やろうとして入部したんだろ！最初は誰でも初心者である」「鍛えてやる」と一段と厳しい練習になつたようを感じた。あとから思えば、ここで辞めてしまうのは簡単なことだがそれが生涯すぐ挫折し、諦める全く成長しない自分が浮かんだものであつた。努力とやる気が大事で

「初心者」だと素人だからは全く関係ない、自分に言い訳しているだけだと気付きました。その後、練習にはなんとかついていくようになりました。練習後素振り300本は毎日あつて最初は「こんなができるか」と思つてやつていたのが気が付いたらいつの間にかできるようになつていてそれも気持ちに少しゆとりがでたのを感じた。かかりけいことつてお互いが小手、面、胴を打ち合ひする練習にも先輩のスピードには全くついていけなかつたがだんだんと慣れいつた。また練習の厳しさ、苦しさが楽しさに変わつたのです。その後、一級、初段と取得し高校へと進学しました。早速剣道部に入部しました。

レベルは中学校とは格別に違うのを感じたものです。

今までの自分であればマイナス思考だったがやつても無いくせに自信が湧き出でていた。

練習後の素振りも500本とできるようになり3年生に一段を取得し、個人戦、団体戦と試合に出るようになりました。強さは？です。2年生の夏の頃だったが校庭の芝生で数人がひとりに対し暴力しているのに遭遇した。その数人が立ち去りいじめられていた子に話を聞くとこの状況は半年以上続いているとのこと。1年生のその子は何か自分とだぶつっていた。話している表情はどこか暗く無表情であった。

体つきも体力があるように見えないので精神的にも体力も鍛えられる何か部活の入部を勧めた。

その後、何回かその子に会い話を聞き、話し相手になるに連れて顔が変わった感じがした。

何日かあとの事、ソフトボール部に入ったと嬉しそうに語ってきた。本当は剣道を一緒にと思っていたので少し寂しかったがもちろんうれしさが大きかったのは当然である。その後、ソフトボールを一生懸命し、自然にいじめに会うことがなくなつていたようです。

最初は体力がなくてマラソンが苦手で5Kmを1時間以上かかつて走つても練習すれば必ず1時間かかる、30分以内も十分可能である。スポーツは勝つ喜び負ける悔しさ練習して上手くなる快感、学問はいろいろな本を読んだり勉強していい結果をのこしたりまたいろいろ人と話したりコミュニケーションを図るのも勉強だと思いますが知識がつき自信になる。いろいろな自信が表情として明るさを与えてくれる。常に悪い事がふりかかってくる時は今までひとりだったはず。

だから自分で自分を追いつめ一層

暗くなる。

今！鏡を見てください。

暗くなつていませんか、自然な笑顔ができるようになつてください。

今までは何かあれば周りが悪い、相手が悪いだつたのを自分自身にも問題がないかまた変われる事。

手が悪いだつたのを自分自身にも問題がないかまた変われる事。

みんな健康な人ばかりではないですね。障害のある人、難病に苦しんでいる人、さまざまな人と共存しています。その人たちはどうでしょ、一生懸命生きてる。もともと健康な体で普通な人が自ら生命を絶つほど馬鹿らしいのはない。今一度周りを見てほしい。

ひとりではないはず！

つてほしい。

自然を観てほしい、触れてほしい。

草、木、花、雑草、昆虫などどうでしょう。

人に踏まれようが風で倒れようが雪で埋もれようが、力いっぱい生きている！

人間は自然界の頂点です、自然を破壊するのも人間、守るのも人間。だつたら手本となり今の辛さを乗り越え草、花の見本になること。諦めず努力は必要です、解決は勝手にやつて来ません。

そしていざれ結婚して子供ができたら生きた辞書としてしつかり教育してほしい。どんなに辛いことがあってもそれは長い人生のほんの一部。絶対に笑える時が来る。まずはやってみること諦めない。

何となる。

(後書き)

確かにいろいろな悩み、辛い事、たくさん誰れもが持っています。それを乗り越えると人間として大きいになります。絶対に逃げずに一生懸命考え方努力してください。最後は笑顔。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5430d/>

長い人生何とかなる

2011年1月28日06時06分発行